

「就労環境改善事業」**第2回例会 就労環境例会「近況報告・情報交換会」**

1月11日 於 京都府産業支援センター5F 研修室

有限会社植田製作所 植田 晃史

1月11日(木)に就労環境改善事業として 第2回例会就労環境例会「近況報告・情報交換会」を京都府産業支援センターにて開催いたしました。第2回では今年、京都府様と共催しております「人材確保・定着の為の職場づくり元気塾」の振り返りと第1回例会からの各社の進捗や改善事例等の報告会を行いました。

1部では元気塾で講演いただきました(株)大滝工務店 大滝様、綿善旅館 小野様、(株)アグティ 齋藤様、(株)コアマシナリー 岡本様の振り返りと、それぞれが感じた事や自身の共通点、自社が抱える問題の解決のヒントなどの意見交換を行いました。講師の方々の取り組みの中で、「人」に関する部分に注力されている印象を参加者が感じたのではないのでしょうか。ご参加いただいた京都府様からの感想や参加者の考え、講師4名の実体験と交えながら、アウトプットと新たな気付きを得る機会となりました。

2部では、1部を元にキーワードの掘り下げ、各社の近況報告を行いました。「社員とのコミュニケーション」「自社のつよみ」「定着理由」の内容で様々な意見が飛び交い、コミュニケーションでは定期的に面談を実施している・普段からの雑談など、色々な手法がありました。定着理由ではアットホームは雰囲気・厳し過ぎない社風・またしっかりした補助や制度の拡充などの内容が出ました。中でも印象的な定着理由に「賃金の良さ」というシンプルかつ、分かりやすい意見もあり、働く側も求めている事が様々あると感じました。

また、京都府の横川副主査より今年度の就労環境改善についての補助金の採択結果、内容など普段は聞けない貴重な情報もいただきました。

今回の例会で、ものづくり企業では「就労環境改善」はやらなければいけない事だが、その前に「経営改善」が先にきているのでは、と感じました。それでも人数規模・売上・事業内容などの各社のステージによって、取り組む内容や、改善内容が違ってくるので、まずは自社の立ち位置を把握する事が、第一歩だと思いました。

最後になりますが例会開催にあたり、年明け早々の例会にも関わらず参加いただきました会員の皆様、貴重な情報いただきました京都府の皆様、また会場をご提供いただきました公益財団法人 京都産業 21 様 誠にありがとうございました。

